

## 用 語 集

頭文字	用 語	注 釈
あ行	空家バンク	空き家の所有者から提供された情報を集約し、空き家をこれから利用・活用したい人に紹介する制度。
	アクセシビリティ	利用しやすさ。
	預かり保育	保護者の希望に応じて、幼稚園が従来の教育課程に係る教育時間を超えた教育活動を行うこと。
	アドバンス・ケア・プランニング(ACP)	人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、家族等と話し合い共有すること。政府では「人生会議」として推進。
	アプリ	アプリケーションの略。
	イノベーター	革新者。新技術などの導入者。
	インターンシップ	特定の職の経験を積むために、企業や組織において労働に従事している期間。
	インバウンド	「外国人の日本旅行」又は「訪日外国人観光客」などの意味。
	インフラ	インフラストラクチャーの略。都市の基盤となる道路、鉄道、上下水道、電気、通信などの施設。
	雨水排水ポンプ場	大雨の時、雨水を河川に放流し、市街地の浸水を防止する機能を持ったポンプ場。
	エンディングノート	人生の終末期に迎える死に備えて自分の希望を書き留めておくノート。
	おくやみコーナー	身近な方がお亡くなりになった際に、市役所で必要な手続きの申請書を一括作成補助してご案内し、市役所以外の手続きで必要な戸籍謄本・住民票の写しなどの証明書類の取得をサポートする窓口。
温室効果ガス	大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体。代表的なものは二酸化炭素など。	
か行	学級満足度尺度調査(Q-U) 満足度	学校生活・活動に満足し、意欲的に取り組んでいる子どもたちの割合。
	関係人口	「定住人口」でも、「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々。
	基幹管路	導水管、送水管及び配水本管をさす。配水本管とは、浄水を配水支管へ輸送、分配する役割を持ち、給水管の分岐のないもの。配水支管とは、需要者への供給の役割を持ち、給水管を分岐するものをいう。
	共助	地域の災害時要配慮者の避難に協力したり、地域の方々と消火活動を行うなど、周りの人たちと助け合うこと。災害時には家庭で日頃から備える自助、市役所や消防・警察などの公的支援である公助と合わせ、互いに連携することが重要。
	共創デスク	民間事業者等から社会的課題の解決につながるユニークな発想や提案を、幅広く一元的に受け付ける窓口。
	クラスタ	同種のものや人の集まり。群れ。集団。
	グロス	「全体」を意味し、人口密度においては道路や公園も含んだ区域全体に対して算出する。
	経済センサス	統計法で基幹統計として定められている「経済構造統計」を得るための調査名称。
公共施設 マネジメントシステム	公共施設を管理しているうえで必要なストック情報・コスト情報・サービス情報を一元的に管理できるシステム。	

頭文字	用語	注 釈
か行	合計特殊出生率	人口統計上の指標で、一人の女性が出産可能とされる15歳から49歳までに産む子どもの数の平均。
	交流人口	その地域に訪れる人。「定住人口」に対する概念。
	コーホート変化率法	各コーホート(同年または同期間)の過去における実績人口の動態から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。
	子育て世代包括支援センター	妊娠・出産・子育てに関する情報提供を行い、関係機関と連携しながら支援を行うワンストップ相談窓口。
	コミュニティ・スクール	学校運営協議会を通じて、学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育をめざす、地域に開かれ、地域に支えられる学校。
さ行	サウンディング型市場調査	市有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査。
	サテライトオフィス	企業の本社・本拠地から離れた場所に設置されたオフィス。
	サプライチェーン	商品が消費者に届くまでの原材料調達から製造、物流、販売といった一連の流れを大きな供給の鎖として捉えたもの。
	産業支援センター	日野町のカリヨンプラザにある市内の中小企業や小規模事業者を支援するための産業拠点施設。
	産品想起率	ブランド総合研究所が毎年、全国の消費者約3万人を対象に行う地域ブランド調査の一つで、各市区町村の食品3品まで回答してもらい、100人当たりの記入数でスコアを算出。(2019(R1)年 松阪市7位)
	資源化率	ごみの総排出量における総資源化量(資源化したごみの量)の割合。
	自然増減	出生と死亡による人口の増減。出生数が死亡数より多いときは自然増となる。
	自治体総合アプリ(松阪ナビ)	スマートフォン等で使う行政サービスの総合アプリケーション「松阪ナビ」。プッシュ通知でごみの日を通知したり、道路の破損状況を投稿できるなど、様々な用途に活用される。
	シティプロモーション	地域資源に対する市民等の誇りの醸成を基礎として、地域の魅力を創造し、磨き上げ、発信することによって、都市イメージの向上を図る活動。都市の魅力を都市内外に効果的に発信し、人、物、金、情報などの資源を都市内部へ取り込み、活用していくための取組。
	シビックプライド	市民が都市に対してもつ自負と愛着。
	社会資源	人々の生活の諸要求の充足や、問題解決の目的に使われる各種の施設、制度、機関、知識や技術などの物的、人的資源の総称。
	社会増減	住民の転入と転出による人口の増減。転入が転出より多いときは社会増となる。
	住民自治協議会(住民協議会)	市条例で定められた組織で、地域の住民等が身近な地域課題を解決し、地域の特性を生かして、自律的に地域づくりを行う組織。
	就労の広場	市役所本庁舎1階にある求職者相談窓口。
シンクタンク	様々な分野の専門家を集め、政策、現状分析、開発など高度な研究を行う組織のこと。	
スポンジ化	市街地もしくは都市のスポンジ化という。都市の大きさが変わらないにもかかわらず、使われない空間が小さい穴があくように生じ、人口密度が下がっていくこと。	

# 付 属 資 料

頭文字	用 語	注 釈
さ行	3R	リデュース(無駄なごみの量をできるだけ少なくする)、リユース(一度使ったものをごみにせず何度でも使う)、リサイクル(使い終わったものをもう一度資源に戻して製品をつくる)。
	生活困窮者 自立相談支援事業	生活困窮者及び生活困窮者の家族や関係者からの相談を受け、それぞれの状態に応じたプランを作成し、関係機関への同行や就労支援など必要なサービスにつなげるもの。
	生活習慣病	食事や運動・喫煙・飲酒・ストレス等の生活習慣が原因で起こる病気の総称。
	性自認	自分の性をどのように認識しているのか、どのような性のアイデンティティ(性同一性)を自分の感覚として持っているかを示す概念。「こころの性」と呼ばれることもある。
	ソーシャルビジネス	貧困や環境問題などの社会課題の解決をめざして行うビジネス。
た行	第二創業	既に事業を営んでいる中小企業・小規模事業者が業態転換、新事業・新分野に新たに進出すること。
	地域おこし協力隊	飯南・飯高・嬉野(宇気郷・中郷地域)の地域の活性化を図るため、2019(R1)年10月から情報発信や移住・定住を促進する活動に取り組んでいる。2020(R2)年10月末現在の隊員は2名。
	地域開放型図書館	学校内に図書室とは別に地域住民が利用できる図書館のこと。本を借りるだけでなく児童、生徒と地域住民が交流するなど、地域づくりを行う場としても活用されている。
	地域型保育事業施設	保育ニーズの高い0～2歳児への対応を目的とした小規模の保育事業施設。
	地域共生社会	社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と社会資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をとともに創っていく社会をめざすもの。
	地域の看取り	人々が住まなくなった家屋や集落を単に放置するのではなく、記憶・文化の伝承と環境・景観の保全を両立する活動。人口減少地域の文化、口頭伝承、有形・無形の文化財等の保護・保存・記録等を入念に行い、地域の人々の思い出に深く刻まれるような工夫を凝らしつつ、その地域を元来の自然の姿に還していく持続可能な循環型アプローチ。
	地域包括ケアシステム	地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活支援が包括的に確保される体制。
	地域包括支援センター	介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関。
	中山間地域	過疎法・山村振興法等で指定された地域。
	超高齢社会	65歳以上人口が21%を超える社会。
	デマンドバス・タクシー (デマンド型交通)	利用者の事前予約に応じる形で運行経路や運行スケジュールをそれに合わせて運行する地域公共交通。
	テレワーク	自宅など会社から離れた場所で仕事を行う勤務形態。
	特定健康診査	日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象に行う、メタボリックシンドロームに着目した健診。

頭文字	用語	注 釈
な行	認知症ケアファーム	認知症を抱える人にデイサービスを提供する農場。
は行	パブリックコメント	公的機関が規則や命令などを制定しようとするときに、広く公に意見・情報・改善案などを求める手続き。
	パラダイムシフト	常識的な考え方の枠組み(パラダイム)が、革命的、劇的に大きく転換(シフト)すること。
	5G	[超高速]だけでなく、「多数接続」や「超低遅延」といった新たな特徴を持つ第5世代の移動通信システム。
	福祉避難所	高齢者や、障がい者その他の特別な配慮を必要とする要配慮者を受け入れるための設備、器材、人材を備えた避難所施設。
	フッ化物洗口	むし歯予防に効果があるとされるフッ化物(フッ素)を用いたうがい。
	フレイル	健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態。
ま行	マザー工場	調査・企画・情報処理部門などの本社機能を持つ事務所があり、研究開発機能を備えた主力生産拠点。
	まつさか移住交流センター	飯南産業文化センター内に設置した、中山間地域の空家バンクや移住相談等に関する総合的な相談窓口。
	松阪版ネウボラ	フィンランド語で「相談・助言の場」という意味で、フィンランドでは子育て家族の支援制度で地域におけるワンストップ拠点を「ネウボラ」と呼んでいる。「松阪版ネウボラ」では、健やかな子育てができるように関係各課が連携し、妊娠・出産・子育て期の途切れない支援をめざす。
	メタボリックシンドローム	内臓脂肪が増え、生活習慣病や血管の病気になりやすくなっている状態。
や行	ユニバーサルツーリズム	高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行。
ら行	ライドシェア	自動車の相乗り。
	リモートワーク	情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。
わ行	ワーク・ライフ・バランス	仕事もプライベートもどちらも充実させる働き方・生き方。
	ワーケーション	「Work(仕事)」と「Vacation(休暇)」を組み合わせた造語。リゾート地や地方など、普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇を過ごす仕組み。
	ワンストップサービス	複数の窓口に渡っている関連する手続きなどを、一か所でまとめて行うサービス。
	ワンモアベビー支援	市の3人目応援プロジェクト。3人目以降の認可保育園、幼稚園等に係る保育料や給食の副食材料費を免除し、子育てにかかる経済的な軽減を図るもの。
A	AI	人工的につくられた人間のような知能又はこれをつくる技術。また、これらの機能を備えたコンピュータシステム。
	AIオンデマンド	オンデマンド交通は、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うシステムで、AIを活用することで、最適な運航ルートを決めるだけでなく、移動需要の予測や運行の効率性向上が可能になる。
D	DV	domestic violenceの略。ドメスティック・バイオレンスとは、配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力。

頭文字	用 語	注 釈
I	ICT	情報通信技術。コンピュータやインターネットの技術を通して人同士のコミュニケーションを生み出す技術。
	IoT	Internet of Things の頭文字をとったもの。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。
	Iターン就職	出身地以外の場所、主に都市圏から地方へ来て就職すること。
M	MaaS	ICT を活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ(移動)を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念。
P	PDCAサイクル	Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)を繰り返すことによって、業務内容を継続的に改善していく手法。
S	SDGs	国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標で、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。
	SNS	Social Networking Serviceの略。ソーシャル・ネットワーキング・サービスとは、インターネットを介して人間関係を構築できるスマホ・パソコン用のサービスの総称。Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、Instagram(インスタグラム)などのこと。
	Society5.0	必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、いきいきと快適に暮らすことのできる社会を「超スマート社会」ととらえた上で、その未来社会の実現に向けた一連の取組として整理される概念。
U	Uターン就職	進学や就職で出身地以外に移住したのち、生まれ育った出身地に戻り就職すること。